

令和6年度 本部事務局事業報告

1 事業の概要

当福祉会は、昭和50年の設立以来、朝霞市、志木市、和光市の広域的な社会福祉事業の主たる担い手として、安心・安全で多様な福祉サービスを展開し、地域福祉の向上に努めてきました。令和6年度においても、障害児・者の直営2施設である「みつばすみれ学園」、「すずらん」の運営をはじめ、和光市から「ほんちょう保育園」、「にいくら保育園」の運営を受託するとともに、朝霞市の指定管理者として「特別養護老人ホーム朝光苑」、受託事業として「地域包括支援センター朝光苑」の運営を行いました。また、みつばすみれ学園では新規事業「保育所等訪問支援事業」を開始し、施設の内外を問わず支援の提供に務めました。

福祉会を取り巻く環境変化に対応

（職員採用と人材育成）

職員採用においては、①求人情報はできるだけ早期に情報公開し、適切に情報を更新すること、②就職相談会のような求職者と直に会える機会には積極的に参加すること、③施設見学希望者を積極的に受け入れることなどに引き続き努めることで、令和7年4月1日付の新卒者1人を含め、計7人を採用することができました。また、新卒者に対しては不安や疑問点の解消や新卒者間及び先輩職員との交流を目的として、昨年度に引き続き懇談会を開催しました。

人材育成においては、県社協主催の階層別研修を軸として、引き続き法人内外の研修受講を通じた人材育成に努めるとともに、令和6年4月に採用した新卒者2人に対し、従来の新人研修に加え、年度末にフォローアップ研修を行いました。

（当法人が提供している施設サービスの見える化）

引き続きインスタグラムを活用し、施設の日常や利用者の取り組み等を発信することで、利用希望者や求職者に対し、各施設の特徴と雰囲気が伝わるよう努めました。みつばすみれ学園とほんちょう保育園では、法人アカウントから独立した施設独自のアカウントを運用することで更新の頻度が増え、より日常的な投稿となったことで、利用希望者などからの反響が増えました。また、法人ホームページの改修については、昨年度立ち上げたプロジェクトチームを中心に改修作業を進めました。さらに法人施設をPRするため、新たに「FM775 라이브러리」からの出演依頼に対応しました。

（障害者雇用における法定雇用率の達成）

法令により3人以上の障害者雇用が求められていますが、1人分の欠員が令和4年2月以降継続しており、令和6年度も充足させることはできませんでした。今後も法定雇用率の段階的な引き上げや、除外率の引き下げが予定されており、採用人数が増えることが想定されます。従来どおりの業務の選別に加え、保育士などの専門職における障害者雇用についても課題として、引き続き検討していきます。

2 理事会等の開催

(1) 理事会

開催:年4回	開催日	決 議 事 項
第176回	6月10日	第1号議案 職員処遇改善手当支給規程の制定について 第2号議案 職員給与規程の一部改正について 第3号議案 臨時職員等取扱規程の一部改正について 第4号議案 朝光苑運営規程等の一部改正について 第5号議案 朝光苑介護保険システム入替に係る契約締結について 第6号議案 令和5年度決算の承認について 第7号議案 定時評議員会の開催について
第177回	9月30日	第1号議案 保育園保育士等待遇改善手当支給規程の一部改正について 第2号議案 令和6年度補正予算について
第178回	12月25日	第1号議案 令和6年度補正予算について 第2号議案 「朝光苑」運営規程等の一部改正について
第179回	3月29日	第1号議案 就業規程の一部改正について 第2号議案 臨時職員等取扱規程の一部改正について 第3号議案 ほんちょう保育園・にいくら保育園管理規程の改正について 第4号議案 「朝光苑」運営規程等の一部改正について 第5号議案 令和6年度補正予算について 第6号議案 令和7年度事業計画について 第7号議案 令和7年度予算について 第8号議案 保育園給食業務委託に係る契約締結について 第9号議案 朝光苑給食業務委託に係る契約締結について 第10号議案 朝光苑紙おむつの購入に係る契約締結について 第11号議案 役員賠償責任保険の継続加入について 第12号議案 施設長の任免について

(2) 評議員会

開催:年1回	開催日	決 議 事 項
定時評議員会	6月25日	第1号議案 令和5年度決算の承認について

(3) 評議員選任・解任委員会

令和6年度中の開催なし

3 監事による監査

開催回数	開催日	内 容
3 回	6月7日	決算監査 対象：全施設
	12月25日	中間監査 対象：本部事務局、みつばすみれ学園、すずらん
	2月7日	中間監査 対象：ほんちょう保育園、にいくら保育園、朝光苑

4 複合施設の避難訓練

実施日	訓 練 内 容
4月26日	地震避難訓練（震度4）
5月9日	火災避難訓練
6月3日	地震避難訓練（震度6強） ※車椅子利用者避難
6月26日	志木消防署救急隊によるAED、心肺蘇生法講習
7月16日	火災避難訓練（志木消防署立ち合い）
8月5日	水害避難訓練（垂直避難）
9月6日	火災避難訓練 ※車椅子利用者避難
9月11日	志木消防署消防隊による消火器訓練
10月3日	地震避難訓練（震度6強）
11月13日	火災避難訓練
12月4日	事業継続計画（BCP）訓練
1月14日	火災避難訓練
2月17日	地震避難訓練（震度6強）
3月7日	火災避難訓練

※すずらんでは令和2年度から訓練内容に車椅子利用者避難を盛り込んでいます。

5 自主研修制度の利用状況（令和6年度中の自主研修補助金制度利用者 0人）

6 各種試験

（1）職員採用試験（令和6年度中の採用決定者 7人）

職 種	試験内容	試験日	試験結果（入職日）
看護師	面接	令和6年4月2日 令和6年4月9日 令和7年3月27日	応募者：1人 採用者：0人 応募者：1人 採用者：0人 応募者：2人 採用者：2人（令和7年5月1日） （令和7年6月1日）
保育士	面接	令和6年8月5日 令和7年1月17日	応募者：1人 採用者：1人（令和7年4月1日） 応募者：3人 採用者：3人（令和7年4月1日）
介護職員	面接	令和6年6月26日 令和7年3月18日	応募者：1人 採用者：0人 応募者：1人 採用者：1人（令和7年4月1日）
介護支援 専門員	面接	令和6年11月22日	応募者：1人 採用者：0人

（2）職員昇任審査・試験

項 目（方式）	内 容	審査日・試験日	審査・試験の結果
主査級昇任試験（応募）	勤務評価 面接・論文	令和7年1月22日	対象者：4人 合格者：2人
主幹級昇任審査（推薦）	勤務評価 審査会	令和7年2月14日	対象者：5人 合格者：2人
施設長昇任審査（推薦）	勤務評価	令和7年2月17日	対象者：3人 合格者：1人

7 職員数（令和7年3月31日現在／単位：人）

（ ）は常勤換算の人数

施設名	理事長 施設長	事務員		保育士 児童指導員 生活支援員 介護職員 (補助含)		看護職員 機能訓練指導員		栄養士	児童発達支援管理 責任者 サービス管理責任者 相談支援専門員 介護支援専門員 生活相談員 社会福祉士 運転手 等			合 計	
	正規	正規	パート	正規	パート	正規	パート	正規	正規	パート	正規	パート	
本部事務局	1	2	1(0.9)	—	—	—	—	—	—	—	3	1(0.9)	
みつばすみれ学園	1	1	—	3	13(8.9)	1	1(0.8)	—	5	5(3.4)	11	19(13.1)	
すずらん	1	1	—	9	17(11.9)	2	1(1.0)	—	1	—	14	18(12.9)	
ほんちょう保育園	1	1	—	11	20(14.9)	1	1(0.8)	※2	—	—	14	21(15.7)	
にいくら保育園	1	※1	1(0.5)	15	18(12.6)	1	1(0.8)	1	—	—	18	20(13.9)	
朝光苑	1	4	2(2.0)	26	13(11.6)	6	1(1.0)	1	10	2(1.1)	48	18(15.7)	
合 計	6	9	4(3.4)	64	81(59.9)	11	5(4.4)	2	16	7(4.5)	108	97(72.2)	

※1 ほんちょう保育園と兼務

※2 にいくら保育園と兼務

令和6年度 みつばすみれ学園事業報告

1 事業の概要

利用状況

施設利用者の多様なニーズへの対応に努めてきましたが、ここ数年の利用人数の低下により、令和6年度から定員を30人に変更しました。年間の契約児童数は令和5年度の75人に対し72人で、うち8人が医療的ケアを必要とする児童でした。定員に対する利用率は昨年度54.7%、6年度は69.1%でした。利用児の構成は、幼稚園、保育園、他事業所を利用しながら学園を利用する（併行利用）児童が半数以上を占める状況が続いています。また、小集団による社会性の培いを課題として開設していたホッピングクラスは、利用人数の減少から令和6年度末で閉鎖することとしました。一方、新規事業として「保育所等訪問支援事業」を開始しました。主に併行利用児童と契約し、契約児童14人に対し月1回程度の訪問を実施し、通所と訪問の両面での支援を提供しました。

専門性の高いサービスの提供

保育士・児童指導員による集団療育に加え、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）、PT（理学療法士）等、専門職による個別療育など幅広い支援を行いました。

社会体験の機会を積極的に支援に取り入れ、各クラスで交流保育や園外保育等を実施し、園外保育の行先に消防署や図書館など公共施設も取り入れ、児童の活動の幅を広げることに繋がりました。また、保護者向けには、歯科医師による勉強会や、就学までの流れについての情報提供会を開催しました。

職員研修については、オンライン研修も活用し、多くの職員が研修機会を得るよう努め、虐待防止研修、階層別研修の他、支援の知識や技術の習得などの研修を受講しました。また、内部研修としてクラスごとにテーマを決め、ケース検討を行いました。

さらに、職員及び保護者による児童発達支援の評価を行い、運営・療育について現状の課題を明らかにし、改善に取り組みました。

地域支援の強化

「みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センター」との連携はこれまで通り行い、スムーズな事業所利用を進めました。

令和6年度より新規事業として開始した「保育所等訪問支援事業」では、対象児童に対しての直接支援以外に保育所等の担任職員への間接支援も行い、地域支援の強化に努めました。

また、県からの委託事業「障害児等療育支援事業」では、在宅児童が自宅訪問による支援を希望するケースは減っており、令和6年度は0件でしたが、一方で幼稚園・保育所等の巡回支援希望は増えており、積極的に施設支援事業を実施し、保育所や幼稚園の支援に努めました。

さらに、「発達障害地域療育センター事業（南西部地域療育センター）」との連携を通して、保護者サロンの実施など専門職による支援を行いました。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	誕生会、地震・火災避難訓練、保護者と施設間連絡会、交流保育、身体測定、こころの発達相談・整形外科健診(月1回)、内科(隔月)、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の指導(週1回・必要に応じ)
5月	クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診、溺水訓練
7月	七夕、夏祭り
8月	すいか割り(土曜開所)
9月	土曜開所
10月	ハロウィーンごっこ(土曜開所)
11月	運動会(宗岡第三小学校体育館) クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
12月	クリスマス会
1月	もちつきごっこ(土曜開所)
2月	豆まき、発表会
3月	卒園式

(2) 相談・会議等

相談等	①療育相談／来園・電話相談、個別・訪問・集団療育、健診、機能訓練 ②個別面談、クラス懇談会、保護者と施設間連絡会
施設内会議	①ケース検討会議、カリキュラム検討会議、クラス会議、職員会議 ②通園バス運行会議、給食検討会議
関係機関会議	① 朝霞市 子ども子育て会議(年6回) 発達障害児者支援体制整備連絡会議(年2回) 要保護児童対策地域協議会(年6回) 育成保育審査会(年2回) 子ども読書推進委員会(年2回) 障害者プラン(年1回) 検診後フォローグループ(年11回) ② 志木市 介護給付費等支給審査会(年10回) ひまわり保育判定審議会(年7回) 自立支援協議会(年1回) 幼保小連絡協議会(年3回) 教育と福祉の連携会議(年1回) ③ 和光市 子ども子育て支援会議(年6回) 医療的ケア児等支援協議会(年2回) 〃 入園支援部会(年1回) 〃 看護業務委託事業者選定委員会(年1回) ④ 4市看護職会議(年1回) ⑤ 和光特別支援学校学校運営協議会委員(年2回)
他機関交流	① 見学・実習の受入れ、中学生職業体験 ② 地域の作品展等(チャレンジ作品展/和光市中央公民館)(太陽展/志木市総合福祉センター) ③ 施設便りの発行・配布(月1回)

3 利用状況

児童在籍状況（契約児童）

（月初在籍数：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
朝霞市	27	28	29	29	30	36	37	37	36	36	36	37	398
志木市	15	16	16	16	17	17	17	17	18	18	19	19	205
和光市	11	10	10	11	11	11	13	14	14	15	15	16	151
合 計	53	54	55	56	58	64	67	68	68	69	70	72	754
入園児数	6	1	2	1	3	6	3	1	2	2	2	2	31
退園児数	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1	1	29	35

※退園児 35 人の内訳

就学による卒園 14 人（特別支援学校 8 人、支援級 5 人、通常級 1 人）

生活スキル・社会性等の向上による退園 20 人 転居 1 人

※低年齢児クラス（0～2歳）を利用した児童が力をつけ、幼稚園・保育園へ移行するケースが増えている。

4 外部協力・援助等

（1）寄附一覧（現金・物品）

—敬称略—

日 付	寄 附 者	金 額	備 考
R06.06.24	藤宮工務店	250,000円	
R06.07.10	志木ロータリークラブ	10,000円	
R07.03.19	門脇 拓也	100,000円	
R07.03.31	栗原 友介	500,196円	
合 計	4 件	860,196円	

日 付	寄 附 者	品 名 等
R06.12.12	志木市日赤奉仕団	フルーツシェイカー
R06.12.12	本田技研労働組合	園庭遊具、蓄電池
合 計	2 件	

（2）ボランティア受入れ

製作（通年）	個人（2名）	延べ54名
福祉学園（2日間）	志木市社会福祉協議会	延べ 2名
夏祭り	個人	2名
運動会	本田技研労働組合	8名
職業体験	朝霞市立第一中学校	延べ 6名

（3）見学等受入れと職員派遣

	件 名	実施日数	機 関	延べ人数
受入れ	卒園・退園児の引き継ぎと相談	1日	1機関	5名
	学園療育についての見学と体験	18日	18機関	31名
	学園利用児の様子観察	3日	3機関	5名
	次年度就学児・移行児の様子観察	2日	2機関	3名
	学園見学(入園希望者、電話相談など)	92日	—	92名

	学生の受入	0 日	0 機関	0 名
派 遣	育成保育対象児の様子観察	7 日	7 機関	1 1 名
	フォローグループの援助	9 日	1 機関	9 名
	学園利用児の様子観察・情報交換	3 日	3 機関	3 名
	学園概要・療育の説明	0 日	0 機関	0 名
	巡回相談（学園利用児以外）	4 9 日	2 5 機関	5 5 名
	研修会講師	0 日	0 機関	0 名

（４）実習受入れ

学 校 名	受入期間	期 間	受入人数	
星美学園短期大学	R06. 06. 03～17	1 1 日間	2 名	計 1 9 名 延べ 2 0 1 日
草苑保育専門学校	R06. 06. 17～07. 01	1 1 日間	1 名	
	R06. 08. 19～09. 02	1 1 日間	1 名	
東京家政大学	R06. 06. 18～07. 03	1 2 日間	1 名	
道灌山学園保育福祉専門学校	R06. 08. 09～23	1 0 日間	1 名	
	R06. 11. 18～29	1 0 日間	1 名	
埼玉福祉保育医療製菓調理専門学校	R06. 07. 05～19	1 0 日間	1 名	
東京福祉大学	R06. 07. 16～31	1 2 日間	1 名	
東京家政短期大学	R06. 07. 22～08. 06	1 2 日間	1 名	
	R07. 01. 20～02. 04	1 0 日間	1 名	
秋草学園短期大学	R06. 08. 01～16	1 1 日間	1 名	
実践女子大学	R06. 9. 5～9. 20	1 1 日間	1 名	
聖学院大学	R6. 09. 06～20	1 0 日間	1 名	
淑徳大学	R06. 10. 02～18	1 2 日間	1 名	
	R06. 11. 05～20	1 2 日間	1 名	
	R06. 12. 02～17	1 2 日間	1 名	
埼玉学園大学	R07. 02. 05～20	1 2 日間	1 名	
川口短期大学	R07. 02. 05～20	1 2 日間	1 名	

（５）研修実績

令和 6 年度 外部研修

日 付	研 修 名	参加人数
R06. 04. 15	管理者キャリアパス研修	1 名
R06. 04. 22	管理者キャリアパス研修	1 名
R06. 04. 24	和光特別支援学校 就学に係る学校説明会	2 名
R06. 06. 18	感染症予防・基礎研修	1 名
R06. 07. 19	医療的ケア看護師 講習会	1 名

R06. 07. 20	医療的ケア看護師 講習会	1 名
R06. 09. 11	医療的ケア児家族への心理支援	1 名
R06. 10. 24	看護研修会「知的・発達障害コース」	1 名
R06. 10. 25	看護研修会「知的・発達障害コース」	1 名
R06. 11. 06	看護師を対象とした発達障害に関する専門知識の向上研修	1 名
R07. 01. 24	強度行動障害支援者育成研修	1 名
R07. 01. 31	強度行動障害支援者育成研修	1 名
R07. 01. 31	新任職員フォローアップ研修	1 名
R07. 02. 16	実践交流セミナー	7 名
R07. 02. 21	新任職員フォローアップ研修	1 名
R07. 03. 04	市内福祉事業所等職員向け専門職研修（志木市）	1 名
R07. 03. 11	埼玉県障害児地域支援体制整備サポート事業研修会	1 名
R07. 03. 17	障害児通所支援事業所職員研修	1 名

※見学研修 にいくら・ほんちょう保育園 各日 1 名

ほんちょう R06. 10. 23 R06. 10. 29 R06. 11. 01 R06. 11. 06 R06. 11. 18

にいくら R06. 10. 31 R06. 11. 07 R06. 11. 08 R06. 11. 12 R06. 11. 20

令和 6 年度 内部研修

日 付	研 修 名	参加人数
R06. 04. 24	採用時研修（感染症対策・衛生管理・身体拘束・虐待防止）	2 名
R06. 05. 25	安全計画（溺水・事故防止）	1 2 名
R06. 06. 26	AED 研修	7 名
R06. 08. 24	虐待防止研修	1 0 名
R06. 09. 21	虐待防止研修	6 名
R06. 10. 26	療育エピソード報告（あゆみクラス・ふたばクラス）	1 2 名
R06. 12. 05	BCP について（採用時研修/継続研修（非常災害））	1 3 名
R06. 12. 09	BCP（衛生管理・感染症）研修と訓練	1 5 名
R06. 12. 09	吐物処理の実際（感染症対策）	1 4 名
R06. 12. 11	身体拘束廃止について	1 2 名
R07. 01. 18	療育エピソード報告（つぼみクラス）	1 4 名
R07. 03. 13	衛生管理（手洗い研修）	8 名

5 保育所等訪問支援事業

【職種】 児童指導員、保育士

【事業内容】 併行利用児対象。幼稚園・保育園で児童への直接支援や環境調整・関わり方等について、担任と相談。担任および保護者へ支援内容を返す。

（件数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
契約者数	0	3	11	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
訪問件数	0	0	4	13	12	14	14	14	12	13	13	13	122

朝霞市 契約者数 6 人 保育所 2 か所、幼稚園 1 か所、こども園 1 か所

志木市 契約者数 5 人 保育所 4 か所 和光市 契約者数 3 人 保育所 1 か所

6 障害児等療育支援事業実績（療育相談利用状況）

【職種】児童指導員、保育士

【事業内容】在宅障害児（者）の地域生活支援。療育相談（電話相談／来園相談）、訪問療育、幼稚園・保育所等との相互支援等（埼玉県委託事業）

（延べ回数）

	①在宅支援 訪問療育等指導事業		②在宅支援 外来療育等指導事業			③施設支援 一般指導 事業	①～③ の合計	関係機関 との連携
	巡回相談	訪問健康診査	発達相談	療育	検診			
朝霞市	0	0	38	11	0	42	91	13
志木市	0	0	17	13	0	27	57	7
和光市	0	0	20	26	0	19	65	23
新座市	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	4	4	1
合計	0	0	75	50	0	92	217	44
	0		125					

7 南西部地域療育センターの実績

【職種】臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士

【事業内容】専門職が個別療育やご家族への支援を行う埼玉県からの委託事業（地域療育センター事業）。未就学児は児童発達支援給付費で対応。就学児は委託費で対応。

実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付費対象	57	58	70	74	74	71	73	72	76	80	74	79	858
委託費対象	10	17	18	18	13	18	18	14	16	13	17	16	188
合計	67	75	88	92	87	89	91	86	92	93	91	95	1046

8 みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センターの実績

【職種】相談支援専門員

【事業内容】障害者（児）等への相談やサービス利用計画の作成、モニタリング等の支援

対応件数（初回アセスメント件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規計画 請求	特	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	児	5	4	0	0	3	2	2	2	0	0	0	2	20
更新計画 案請求	特	2	3	2	2	6	5	4	2	3	6	0	3	38
	児	18	23	29	21	27	22	41	26	45	20	18	50	340
モニタリ ング請求	特	3	9	11	7	7	2	2	6	7	10	3	6	73
	児	40	51	72	49	34	37	26	35	45	30	34	35	488
合計		70	90	114	79	77	68	75	71	100	66	55	96	961

特：特定相談支援（障害者） 児：障害児相談支援（障害児）

令和6年度 すずらん事業報告

1 事業の目標

利用ニーズへの対応

令和6年度中に2名が入所、3名が退所となり、年度末の利用契約数は53名となりました。今年度は、長年通われていた重度重複障害がある方2名が亡くなり、改めて重度障害者を受け入れていくためには、繊細な体調管理が必要となることを感じました。

医療的ケア対象者及び、重度者への対応方法については、医療的ケア委員会や個々の支援計画作成時、随時の検討を行い、ケア方法を確認し支援体制の充実を図りました。

年度途中には、他事業所に通っていた方が併行利用で新規入所しました。入所後、機能訓練を継続したことで動きがスムーズになり、所内でも家庭でもその変化を感じることができています。

利用者のニーズを汲むべく利用者の状況及び家庭背景を鑑み、臨時の個別送迎は例年以上に増やしました。家庭の都合による送迎時間や送迎方法の変更等にもスムーズに対応し、利用しやすい体制を整え、利用促進に繋がる支援の取り組みを継続実施してきました。

支援計画策定と介護、相談体制の充実

個別支援計画書の作成、交付については、書面中心の確認が続きましたが、対面で確認する機会が少しずつ増えています。保護者会は令和4年度以降、対面開催を行っており、良い意思疎通の場となっています。その他の相談については、日頃の連絡帳や随時電話連絡等で受け付けて、柔軟に対応することを心掛けています。

担当の相談支援専門員との連携は密に行っており、また、近年家庭からではなく、近隣のグループホームから通う利用者も増えていることから、施設間での情報の共有化も行っています。

また、職員の支援力を向上させるため、外部研修、内部研修にも力を入れました。外部研修では国際福祉機器展に昨年度に続き参加し、最新の福祉機器の動向を知る機会としていました。内部研修では座学だけでなく、実際に動いて行う訓練形式で行うことで、支援技術力向上に努めました。

安定した施設運営

今年度も感染症の状況に配慮し、利用者の体調管理に気を配りながら施設運営を行いました。主要行事については、今まで自粛していた外出先での外食を再開しています。外食は楽しみにしている方が多く、日頃の活動が作業や訓練中心の利用者にとって、良い刺激の機会になりました。また、主要行事では保護者の参加を促し、交流の機会とすることもできました。

今年度も感染症の影響は多少見られましたが、昨年度までに比べるとその影響はより少なくなりました。年間利用率は99.0%となり、前年度から3.6ポイント増の結果となりました。介護給付収入は目標には届きませんでしたが、今後の経営安定化のため、年度途中から三市以外の利用者も例外的に受け入れることについて三市と話し合い、この結果、次年度からは、受け入れが可能となりました。職員配置を考えつつ、受け入れが可能な時には、年度途中にも利用者を受け入れる体制を整え、経営の安定化に努めます。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	誕生会(毎月末に各グループ毎に実施)、製作品販売、音楽療法(全6回実施) 身体測定、嘱託医診察等(内科、精神科、整形外科、理学療法、作業療法)、 地震／火災／水害避難訓練
4 月	出発式、歯科検診
7 月	七夕、すずらん夏祭り(鳴子ボランティアグループ、保護者参加)
9 月	定期健康診断(車いす利用者胸部レントゲン)
10 月	スポーツレクリエーション(保護者参加、グループ毎に実施) ハロウィン(グループ毎に実施)、定期健康診断(胸部レントゲン、血液検査を含む)
11 月	すずらんフェスティバル(活動班毎の保護者参観、班毎の活動班パネル紹介展 示、製作品販売、保護者への給食提供)、歯科フォローアップ
12 月	クリスマス忘年会(両グループ合同で実施)
1 月	初詣
2 月	節分
3 月	年度終了式

(2) 会議等

施設内会議	①職員会議(毎月) ②給食会議(年3回) ③通所バス運行会議(毎月) ④朝会・反省会(毎日) ⑤個別支援計画会議(随時) ⑥支援グループ会議(年2回) ⑦保護者と施設間連絡会議(年2回) ⑧ケースカンファレンス ⑨感染症防止委員会/衛生委員会(年11回) ⑩虐待防止/身体拘束廃止・適正化委員会(年4回) ⑪医療的ケア委員会(年6回) ⑫事故防止委員会(年4回)
関係機関会議	①4市医療職ネットワーク会議(年1回) ②相談支援事業所との適宜連絡(随時) ③和光南特別支援学校 福祉事業所 合同説明会(年1回) ④和光特別支援学校 福祉事業所 合同説明会(年1回) ⑤和光南・和光特別支援学校 進路連絡協議会(年2回) ⑥障がい者通所施設連絡会(年1回)
外部会議	① 朝霞市障害者認定審査会(年9回) ② 志木市社会福祉協議評議員会(年2回) ③ 埼玉県障害者支援地域連絡協議会(年2回) ④ 和光市社会福祉協議会 すまいる工房・ゆめちか入所審査会(随時)

3 利用状況

(1) 市別在籍状況(契約利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年1月	2月	3月	合計
朝霞市	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
志木市	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
和光市	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	112
合 計	55	55	55	55	54	54	54	54	54	54	54	54	652
入所者数	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
退所者数	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	3

※利用率 99.0%

(2) 障害程度別内訳

(R7.3月末)

	㊤	A	B	C	判定無し	計
療育手帳(知的判定)	43	6	2	1	2	54
精神保健手帳の併所持	0	0	1	0	1	2
身体障害者手帳の併所持	24	0	1	1	2	28

	1種1級	1種2級	2種1級	2種4級	2種5級	計
身体障害 等級内訳	18	7	1	1	1	28

※車椅子使用者19人

	1級	2級	3級	計
精神障害 等級内訳	2	0	0	2

4 外部協力・援助等一覧

(1) 寄附一覧(現金)

—敬称略—

日 付	寄 附 者	金 額	備 考
R6.06.24	藤宮工務店	250,000円	
R6.12.13	栗原友介(嘱託医報酬分)	250,098円	
合 計	2 件	500,098円	

(2) 地域との交流

通 年	新河岸川「川の国応援団美化活動団体」清掃活動実施
10月	北足立郡市町人権フェスティバル 製作品販売
12月	志木市基幹福祉相談センター主催 障がい児・者通所施設活動紹介 すずらん、活動班パネル紹介展示
	和光市主催 和光市チャレンジド団体合同展示会 すずらん、活動班パネル紹介展示
3月	志木市社会福祉協議会主催 総合福祉センター祭り すずらん、活動班パネル紹介展示

(3) 実習生等受け入れ

ア 特別支援学校学生

学校名	受入期間	受入人数	計 4 人 (延べ 12 日)
和光南特別支援学校	R6. 06. 24～R6. 06. 26	1 人	
和光特別支援学校	R6. 07. 03～R6. 07. 05	1 人	
所沢おおぞら特別支援学校	R6. 08. 27～R6. 08. 29	1 人	
所沢おおぞら特別支援学校	R6. 11. 20～R6. 11. 22	1 人	

イ 教員

学校名	受入期間	受入人数	計 3 人 (延べ 1 日)
和光特別支援学校	R6. 07. 31～R6. 07. 31	3 人	

ウ 短期大学生

学校名	受入期間	受入人数	計 1 人 (延べ 11 日)
秋草短期大学(保育実習)	R6. 08. 20～R6. 09. 02	1 人	

エ 中学生

学校名	受入期間	受入人数	計 4 人 (延べ 3 日)
朝霞第一中学校	R7. 01. 29～R7. 01. 31	4 人	

(4) ボランティア受け入れ

畑指導	個人(2 人)	延べ 27 人
支援・製作品補助	個人(1 人)	延べ 4 人

(5) その他

年 26 回	訪問理髪：エルターレ株式会社（希望者対象：有料）
--------	--------------------------

(6) 人材育成

ア 外部研修

日付	研修名	参加人数
R6. 07. 11 ～10. 31	令和 6 年度埼玉県相談支援従事者初任者研修 7 日間	1 名
R6. 09. 15	令和 6 年度ハラスメント防止研修 オンライン	4 名
R6. 10. 02	第 51 回国際福祉機器展&フォーラム	2 名
R6. 10. 24 ～11. 14	サービス管理責任者等実践研修 4 日間	1 名
R6. 12. 12	組織で取り組むリスクマネジメント オンライン	1 名
R7. 01. 29 ～01. 30	令和 6 年度日中活動支援部会全国大会 関東地区埼玉大会 2 日間	1 名

イ 内部研修

日付	内 容	参加人数
R6. 05. 28	相談支援専門員の業務について学ぶ～私たちの支援がどの様に関わっているのか～	15 名
R6. 06. 11、13、22	感染症対策研修	計 31 名
R6. 6. 26	A E D 講習	16 名
R6. 09. 04	道野 P T によるボール、ポールを使った利用者で行える運動	14 名
R6. 10. 01、08、11	虐待防止・身体拘束廃止適正化研修	計 31 名
R6. 11. 06、13	吐物処理研修	計 28 名
R6. 11. 26	接遇研修 動画視聴	22 名
R6. 12. 04	業務継続計画（B C P）研修	20 名
R6. 12. 17	ミステリー研修	9 名
R6. 03. 06、07、12	感染症対策訓練	計 28 名
R6. 03. 27	業務継続計画（B C P）訓練（大地震からの建物内外確認、連絡網訓練）	30 名

令和6年度 和光市ほんちょう保育園事業報告

1 事業の概要

保育内容・障害児保育の推進

令和6年度は在籍児童数85名でスタートし、途中の入退園があり年度末は85名でした。年間利用率は87.1%でした。7月から10月にかけて季節性の感染症に多くの児童が罹患し、保育室やおもちゃ類の消毒、こまめな換気を行い、状況に合わせて環境を整えました。また、10月から3月まで和光市による大規模修繕が行われ、乳幼児トイレや手洗い場の新設、落下防止ネットの取り付けや、ホールのエアコン交換、職員トイレの新設など、保育環境の向上が図られました。

保育内容については、一人ひとりの子どもの気持ちを尊重し、主体的に興味関心を広げて活動することが出来るよう日々の保育を振り返り、環境の見直しや改善を行ない保育の充実を図りました。乳児及び3歳未満児の保育については、保育者が一人ひとりの気持ちを汲み取る事を大切に、関わりの中で安心して過ごせるように応答的対応を心掛けました。幼児についても、乳児期からの積み重ねを大切に遊びの連続性ができる環境を整えました。また、様々な経験や関わりの中で他者を受け入れつつ自分を大切にすることを育てたり、協調性や協同性を育むように保育を展開しました。

発達に支援の必要な在園児や家庭支援を必要とする保護者対応も多く、家庭状況や対応などについて職員間で情報を共有し、ケース会議や研修を重ね、職員のスキルアップを図り、関係機関と連携を取りながら各年齢クラスでの育ちを支えてきました。一時保育児童も日々のクラスの中で生活するため、お互いを理解し仲間として過ごすことができるよう、保育者が仲立ちとなり関わりを支えるように努めました。

豊かな感性を育む取り組み

園庭での外遊びや散歩先での遊びを体感する中で、自然の移り変わりを感じたり、目で見たり肌やにおいを感じられたりする体験を大切にしました。遊びや生活の中で自ら発見し、試そうとする力の芽を育めるような環境づくりを行い、子どもたち同士が共感・共有を経験する機会を高め、豊かな感性を育めるようにしました。

食育については、野菜の栽培や調理保育を行い、野菜の成長を実感できるようにし、調理を行う経験を通して「食」への興味関心が持てるよう工夫し行ってきました。

行事については、子どもたちのやりたい気持ちを尊重し、作り上げ、取り組む過程での子どもの成長を大切にして取り組む事ができました。

園庭遊びの環境作りについては、職員の研修や話し合いを重ね子どもの欲求を満たす遊びの充実に努めました。保育園の建物の改修工事がある中での保育の展開や不自由さもありましたが、工夫し保育の質の低下にならぬように取り組みました。

保護者支援・地域支援

園と家庭をつなぐコミュニケーションアプリ「コドモン」を12月から移行し、活用を進めました。新しいアプリに移行することで更に日々のやり取りが活性化し、保護者の子育てと子ども達の主体的な育ちを支えました。

保育参加については、102人の保護者の方の参加があり、保育園での生活を体感したい保護者が増えました。保護者が子どもたちの保育園での生活や保育者の関わりを直接見るとともに、保育者との個別面談を通じ、子どもたちへの共通理解を深める機会となりました。

インスタグラムを毎週更新することで、日々の子どもたちの様子や保育園の取り組みを知ってもらい地域へアピールするよう努めました。

さらに、実習生の受け入れを行った他、中学生の職業体験やボランティアの受け入れを行い、保育に興味関心を広げられるように働きかけました。また、地域の方が参加できる「遊ぼう会」の参加者が増え、子どもたちとの交流や子育ての相談を受ける事などを通じ地域支援を行いました。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練(毎月)、地震避難訓練(隔月)、防犯訓練(年3回)、布団乾燥、誕生会、市内保育園関係会議(事業者連絡会議、施設長会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会会議) 園だより、クラスだより、献立、保健だよりの発行
4月	0～5歳児懇談会
5月	運動会(4・5歳児入れ替え制)
6月	夜までいっくえん(5歳児)、消防署立ち合い訓練、0、1、2歳児親子懇親会 幼児クラス保育参加(6/3～7/31)
7月	保育園運営委員会、ほんちょうフェスタ
8月	夏あそび会、大規模地震を想定した児童引き取り訓練
9月	おじいちゃんおばあちゃんの日(4・5歳児がプレゼントを渡す) 乳児クラス保育参加(9/30～11/29)
10月	幼児クラス懇親会
11月	やさいも会、5歳児クラス懇談会
12月	音楽あそび会
1月	もちつき
2月	節分、保育園運営委員会、0～4歳児クラス懇談会、味噌作り(4歳児)
3月	ひなまつり、本町小学校との交流(5歳児)、本町小学校学童クラブとの交流 5歳児思い出遠足、入園説明会、卒園式、お別れ会

(2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定(毎月)、内科健診(6・11月)、歯科検診(6月)、尿検査(11月)
- ・ 乳児健診(5・7・9・11・1・3月)
- ・ プライベートゾーンについての話(4、5歳児)、手洗い指導、感染症予防指導(看護師)

(3) 地域交流事業

- ・ 和光市図書館団体貸し出し利用(年2回・各100冊)
- ・ 絵本の読み聞かせボランティア「和光絵本とお話の会」(5月～2月、月1回来園)
- ・ 和光市心の推進委員会あいさつ運動(職員と5歳児)
※市内小中学校との共同事業として各学期の開始時期に1週間ずつ実施

(4) 特別保育事業

- ・ 保育参観／個別面談 102人の参加
3・4・5歳児(6/3～7/31)、0・1・2歳児(9/30～11/29)

(5) 実習生の受入れ

保育関係

学校名	受入期間	受入人数	
貞静学園短期大学	R6. 06. 27～R6. 07. 11	1名	計3名 (延べ30日)
明星大学	R6. 11. 18～R6. 11. 29	1名	
埼玉学園大学	R7. 02. 03～R7. 02. 17	1名	

保育以外

学校名	受入期間	受入人数	計6名 (延べ11日)
朝霞地区看護専門学校（看護師実習）	R6. 09. 17～R6. 09. 19	2名	
家庭裁判所調査官養成課程（司法研修生）	R7. 02. 17、R7. 02. 27	4名	

（6）職員研修

外部研修

日付	研修名	参加人数
R6. 05. 12	ペアレントトレーニング	3名
R6. 07. 01	ヨーロッパの実践に学ぶ児童発達支援と ICT	4名
R6. 07. 19	朝霞市人権問題講演会	1名
R6. 08. 20	幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について	1名
R6. 09. 09	経理業務	1名
R6. 09. 11	メンタルヘルス研修	3名
R6. 10. 15	不適切保育を防ぐために	6名
R6. 10. 14	医療的ケア児等支援者養成研修	1名
R6. 12. 12	中堅職員研修Ⅱ リスクマネジメント	1名
R7. 01. 31 R7. 02. 21	新任職員フォローアップ研修	3名
R7. 02. 07	子どもの人権から考えるからだ教育	1名

和光市主催研修

日付	研修名	参加人数
R6. 06. 18	市内全体研修「子どもの人権を守るために」	12名
R6. 07. 17 R6. 09. 27 R6. 12. 03	加藤ゼミ 「実践から読み解く、子どもと保育士の対話的關係」 全3回	2名
R6. 04. 26 R6. 06. 10 R6. 07. 29 R6. 09. 10 R6. 10. 28	小川ゼミ 「和光市保育の質ガイドライン」 全5回	2名
R6. 05. 29 R6. 06. 12 R6. 07. 24 R7. 01. 28 R6. 02. 06	井上ゼミ 「あそびで子どもの発達を支援する」 全5回	2名
R6. 09. 11	保育士のメンタルヘルス研修	2名

内部研修

日付	研修名	参加人数
R6. 5. 6	「子どもを尊重する保育・人権擁護、虐待防止について」	20名
R6. 05. 20～ R6. 05. 23	AED による救命講習	37名
R6. 05. 27	保育の質ガイドライン・子どもの健やかな育ちの為に	20名
R6. 06. 04	発達支援について考える	15名

令和6年度 和光市にいくら保育園事業報告

1 事業の概要

安心で安全な保育環境の提供・異年齢保育

令和6年度は途中の転居等含め入れ替わりはありましたが、在籍数は定員を下回る105人から107人でした。秋から冬にかけて、水痘や手足口病、伝染性紅斑、インフルエンザなどの感染症に罹患した児童が複数おり、年間利用率は83.4%でした。保育の中で玩具の消毒や換気、児童の体調の変化に留意する、異変がある時に早めに保護者に通院を依頼する、保護者に感染症の情報を発信し注意喚起する等園でできる限りの対応をしました。

保育内容について、特に3歳未満児に対しては、一人ひとりの欲求や思いを受け止め、応答的に関わることや個々のペースに合わせて対応することで、子ども達が安心して過ごし、生活リズムが安定するよう努めました。幼児異年齢グループは、子どもの興味や意欲をとらえ、それらに応じて環境を整え、関わりを持つことにより、活動がより豊かで充実するよう心掛けました。一つの遊びが広がり共有できることの楽しさを味わい、時には他の子と折り合うことや、年下の子に配慮すること、年上の子から刺激を受けることなど、異年齢だからこそその育ち合いを大切にしてきました。

健康な体作り・食育

令和6年度も園庭や近隣への散歩など戸外活動の機会を設けてきました。また、毎朝、園舎内放送で体操の曲を流すことにより、体を動かして一日を始められるようにしました。

看護師からは主に3～5歳児を対象に、手洗い・うがい指導（感染症予防）や歯磨き指導、熱中症対策の話などをしました。加えて5歳児を対象に「命」や「自分の体」を大切にすることについての話をしました。それらにより、健康で安全な生活を送るための習慣を身に付けられるよう取り組みました。

食育の取り組みは、4、5歳児の配膳活動や調理保育などの活動に取り組む際に、マスクやエプロン、三角巾等を身につけるなど「食」にまつわる必要な習慣を身に付けられるよう取り組みました。

また栄養士の指導のもと「梅ジュース作り」や「味噌作り」、その他自分達で考えたメニューの調理体験をしました。5歳児は当番制で食材を四食群に分けて掲示することを行い、体を丈夫にする食べ物について知る機会を設けました。さらに「和食の日」にちなみ、出汁の試飲や伝統的な食材の頭文字「まごわやさしい」、和食を作る時の調味料「さしすせそ」などを学びました。

これらを通して、自分達が口にする物がどのように作られ、食べることが体にどのようにつながるのかを知り、食文化を学び、「食を営む力」の基礎を培うようにしました。

保護者支援・地域支援

保護者懇談会を年度初めと終わりに開催し、写真や動画なども活用して日頃の様子や保育の中で大切にしていることをお伝えしました。個別面談を保育参加（保育士体験、のべ82人が参加）とセットで実施し、参加できない保護者には後日個別面談を設け、園と家庭での育ちを共有できるよう心掛けました。

その他「写真付きエピソード記録（ドキュメンテーション）」や写真販売、動画配信をし、日々の活動の様子を「子ども達の中に今育っていること」という視点から保護者に意識的に発信してきました。子どもの育ちを保護者に共有することで、家庭での育児にいかしてもらえるよう取り組みました。

チャレンジド保育対象児は6人在籍し、配慮の必要な事項や留意する点など、個別の支援についてそれぞれの保護者と確認しました。また保育所等訪問支援事業を受け入れるなど、関係機関との協力や情報共有を丁寧に行いました。

地域の子育て世帯向け支援事業の園開放事業（あそぼう会）は、園庭で遊ぶ形で行いました。入園前の園見学は、1日に2組までとし、「子どもの主体性を尊重し、子どもの学びを支える」保育内容についてご理解いただけるよう丁寧に説明し、見学していただきました。年間を通して63人の見学者がありました。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）、防犯訓練（3回）、 布団乾燥、誕生会 市内保育園関係会議（事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、 幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会） 園だより、クラス・グループだより、献立表、保健だよりの発行
4月	進級式、園外保育（5歳児）、乳児クラス懇談会
5月	幼児グループ・クラス懇談会、園外保育（4歳児）、水難訓練
6月	保育園運営委員会
7月	夜まで保育園（5歳児）
8月	大規模地震を想定した児童引取り訓練、炊き出し訓練
10月	運動会（4、5歳児のみ園庭で実施）、個別面談、水難訓練
11月	個別面談、火災避難訓練（消防署立ち合い消火訓練）
12月	個別面談 ゆず湯（冬至・足湯ごっこ）
1月	おまつりごっこ（5歳児企画、平日、時間差で全園児参加） 保育園運営委員会、個別面談
3月	思い出遠足（5歳児）、卒園式、入園説明会、お別れ会

(2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月）、尿検査（11月）
乳児健診（5月を除いた奇数月）
- ・ 歯科検診 6月
- ・ 看護師からの指導
手洗い・うがい指導（感染症予防）、歯磨き指導、熱中症と水分補給・糖質について
いのちについて、自分の体を大切にする（プライベートゾーン）

(3) 地域交流事業

- ・ 園開放日（にこにこデー）5月～2月 毎週火曜日
- ・ 和光市図書館団体貸し出し利用（年2回・各100冊）
- ・ 絵本の読み聞かせ ボランティア「和光絵本とお話の会」5月から実施 計5回
- ・ みつばすみれ学園2歳児との交流 6月から実施 計4回
- ・ 大和中学校3年生（家庭科） 11月、12月に実施 計4回
- ・ ほんちょう保育園5歳児 1回
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動
※市内小中学校との共同事業として各学期の開始時期に1週間ずつ実施

(4) 特別保育事業

- ・ 年末保育（12月30日 4人利用）
- ・ 保育参加（5/20～1/31まで実施）
延べ参加人数82人

(5) 実習生の受け入れ

保育関係

学校名	受入期間	受入人数	計4名 (延べ46日)
貞静学園短期大学	R6. 06. 27～R6. 07. 11	1名	
共立女子大学	R6. 08. 29～R6. 09. 12	1名	
秋草学園短期大学	R6. 10. 15～R6. 10. 28	1名	
貞静学園短期大学	R7. 02. 12～R7. 02. 26	1名	

保育以外

学校名	受入期間	受入人数	計7名 (延べ13日)
朝霞地区看護専門学校（看護師実習）	R6. 07. 08～R6. 07. 10	3名	
家庭裁判所調査官養成課程（司法研修生）	R7. 02. 17 R7. 02. 27	4名	

(6) 職員研修

外部研修

日付	研修名	参加人数
R6. 05. 31	埼玉県保育士会研修「AI に負けない力」	1名
R6. 07. 27	ほんちょう保育園施設内研修 「子どもの困った行動の意味を考える」	9名
R6. 09. 02 R6. 09. 09	初任者キャリアパス研修	1名
R6. 09. 03	ハラスメント防止研修	2名
R6. 09. 30 R6. 10. 07	初任者キャリアパス研修	1名
R6. 11. 06	視察研修 戸田市新曾保育園	1名
R6. 12. 26	重症心身障害児の成長発達・必要とされる支援	1名

和光市主催研修

日付	研修名	参加人数
R6. 06. 18	市内全体研修「子どもの人権を守るために」	16名
R6. 07. 17 R6. 09. 27 R6. 12. 03	加藤ゼミ 「実践から読み解く、子どもと保育士の対話的關係」 全3回	2名
R6. 04. 26 R6. 06. 10 R6. 07. 29 R6. 09. 10 R6. 10. 28	小川ゼミ 「和光市保育の質ガイドライン」 全5回	2名
R6. 05. 29 R6. 06. 12 R6. 07. 24 R7. 01. 28 R6. 02. 06	井上ゼミ 「あそびで子どもの発達を支援、保育実践プログラム」 全5回	3名
R6. 06. 04 R6. 08. 21 R6. 01. 22	事例検討会	2名
R6. 06. 06	救急救命講習	2名
R6. 09. 11	保育士のメンタルヘルス研修	2名

内部研修

日付	研修名	参加人数
R6. 04. 20	全体職員会議にて	26 名
R6. 10. 19	「子どもを尊重する保育・人権擁護、虐待防止について」	27 名
R6. 05. 24	ベネッセオンライン研修 「大人も子どももみんなが楽しい保育って？」	13 名
R6. 06. 14	学びを支える保育環境づくり～人的環境を中心に～	13 名
R6. 06. 19	AED による救命講習	10 名
R6. 06. 24	AED による救命講習	11 名

※毎月（4月，2月，3月を除く）1回、エピソード記録報告

3 利用状況(月初日在籍児童数)

年間開園日数 293日（うち土曜日 50日）

月 対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月
0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3歳児	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
4歳児	22	22	21	20	20	20	20	20	21	21	21	21
5歳児	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
計	107	107	106	105	105	105	105	105	106	106	106	106

うち育成児童／1歳児1人・2歳児1人・3歳児1人・4歳児1人・5歳児2人

平均利用率	83.4%	土曜日平均利用者数	9.9人
-------	-------	-----------	------

※土曜日平均利用者数には運動会等の行事参加者が含まれる

※入園前の事前見学、問い合わせ 63人

※家庭の都合による退園 5月 1人（4歳児） 6月 2人（2歳児、4歳児）

※途中入園 7月 1人（2歳児） 12月 1人（4歳児）

令和6年度 朝光苑事業報告

1 事業の概要

利用される施設となる(利用率の向上)

利用率の目標及び結果

① 介護老人福祉施設	(目標) 94%	(結果) 62.3%
② 短期入所生活介護	(目標) 86%	(結果) 80.7%
③ デイサービスセンター	(目標) 85%	(結果) 81.2%
④ 居宅介護支援センター	(目標) 105件/月	(結果) 75.5件/月
⑤ 地域包括支援センター	(目標) 140件/月	(結果) 134.4件/月

① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

特別養護老人ホームでは利用率の回復が喫緊の課題である為、入所受入れ体制について再検討を行い、朝霞市との協議のうえ入所要件の緩和(特例入所及び他市居住者の入所)を実施しました。各市関係機関、各居宅支援事業所のご協力により入所対象者が増加し、前年度の3倍にあたる46人が入所しました。しかし、既入居者の状態像変化による長期入院及び看取り介護による退所が40人となり利用率は62.3%にて前年度比較では12.6ポイント減となりました。

下半期より在籍数増加を見込んでいましたが、3回目の苑内コロナウイルスクラスター発生があり、市内他施設の感染症流行等の外部要因により予定していた入所が遅延した事例や介護職員の離職による欠員が続くなど、不測の事態が重なり計画通りの入所者数確保が叶いませんでした。この減収状態が運営に多大な影響を及ぼしている事を重く受け止め、今後も危機意識を持って取り組みを継続していきます。必要職員数を確保し、新入所受入れ体制を整え、公施設ならではの安心・安全な生活支援を主軸に、地域の入所ニーズに最大限応えて利用率の向上を第一義に目指します。

② 短期入所生活介護（ショートステイ）

ショートステイ事業では、利用者の施設入所や状態像変化により年間の利用終了は29人でしたが、新規利用者44人があり、年間利用率は80.7%にて前年度比較では7.4%の上昇となりました。9月の施設内クラスター発生時は、ショートステイ利用者延べ12名の罹患となりました。この間、新規利用は一時中断しましたが事業閉鎖は行わず、罹患された利用者は施設内療養にて利用を継続し、幸いにも重症者はありませんでした。

今後も基本的な感染予防対策を継続して緊急利用受入れ等の体制を整備し、利用率の安定を図ります。

また、障害者短期入所事業の利用者は年間延べ9人と前年度同数となり、新規利用者はありませんでした。

③ デイサービスセンター

デイサービスセンターではアフターコロナを意識して、感染予防対策を継続しながら、日中活動の充実を図れるよう取り組みを行いました。当日欠席分に対して臨時利用の促進を行う他、各居宅支援事業所との連携により新規利用が増加しました。これにより年間利用率は前年度より6.9ポイント増の81.2%の利用状況となりました。活動面においては、ぶどう狩り等の他、利用者からの要望を取り入れた世代間交流(保育園との交流会)を再開しています。今後も機能訓

[illegible]

重度化防止と生活の質を向上する取組みの実践

特別養護老人ホームの入居者層は依然重度化傾向にあり、令和6年度の退所者40人の約半数は長期入院からの退所であるほか、状態像変化による看取り介護への移行増も含め、終末期ケアの充実の他、日常的な健康管理と介護力の強化が命題となっています。

また、近年の介護職員離職により中堅職員数が減少していることから、次世代の人材育成が急務となっています。

身体状況や利用者本人の希望などを考慮した個別プログラムの実践に取り組んでいますが、生活意欲の喪失、身体機能の低下が顕著なケースも多いため、諸活動や関わりを通じて生活に潤いをもたらし、他者との交流を増やしていくなど、心身の機能保持とともに生活の質向上が図れるよう取り組みを継続していきます。

2 各事業の実施状況

(1) 主な年間事業

区分	介護老人福祉施設（特養）	デイサービス	その他
月例事業	誕生会、注文買物、理髪、口腔衛生指導(毎月定例)、嘱託医回診(内科/週1回、精神科/月2回)、理学療法(月2回)、特養ラインカンファレンス(年18回)、新入所前カンファレンス(適宜)、優先入所検討委員会(月1回)、身体拘束廃止委員会(年4回)、感染症対策委員会(年4回)、臨時感染症対策委員会(年12回)、給食委員会(年4回)、痰吸引安全委員会(年4回)、褥瘡対策検討委員会(年4回)、事故防止対策委員会(年4回)	誕生会、PTリハビリ、体重測定、デイ定例会議(月1回)、事故防止対策委員会(年12回)、感染症対策委員会(年4回)	朝光苑運営会議(月1回)、衛生委員会(月1回)、苑だより発行(年4回)、地域包括定例会議(月1回)、居宅定例会議(月1回)
4月	料理クラブ、お花見外気浴	お花見散歩	
5月	菖蒲湯、端午の節句、園芸活動(スイカ)、母の日料理クラブ、ボウリングレク	菖蒲湯 園芸活動 さくらんぼ狩り	一斉緊急メール訓練、生活習慣病健診
6月	料理クラブ、父の日	梅ジュース作り	全体職員会議(6/14) 苦情解決委員会(6/14)
7月	七夕飾り、スイカ割り	スイカ割り	火災避難訓練 埼玉県実地指導監査：障害短期入所(7/16)
8月	料理クラブ(かき氷)、花火鑑賞(朝霞市彩夏祭)	かき氷 野菜収穫 ぶどう狩り	
9月	ぶどう狩り(食堂内) 敬老祝いレクリエーション	フラワーアレンジメント	ストレスチェック、一斉緊急メール訓練、地震避難訓練
10月	料理クラブ、ミニ運動会、歯科検診		夜間火災避難訓練
11月	秋祭りレクリエーション 料理クラブ 朝霞市彩夏祭花火鑑賞(8月延期分) 胸部レントゲン撮影	サンマ焼き 世代間交流(保育園)	一斉緊急メール訓練 職員インフルエンザ接種
12月	インフルエンザ予防接種、年末お楽しみ会 料理クラブ、市内クリスマスイルミネーション鑑賞	年末お楽しみ会 ゆず湯	利用者アンケート実施 全体職員会議(12/13)
1月	正月遊び、書初め、絵馬づくり、料理クラブ	餅つき 世代間交流(保育園)	地震避難訓練

2月	料理クラブ、豆まき	豆まき	職員腰部検診 夜間火災避難訓練
3月	ひな祭り 歯科検診	フラワーアレンジメント 世代間交流(保育園)	一斉緊急メール訓練

(2) 利用状況

朝光苑各事業の令和7年3月31日現在の利用状況は以下のとおりです。

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

(ア) 在籍状況等（単位：人、％）

（定員 75 人）

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当月初	52	51	48	46	48	48	43	47	50	53	56	58	—
入所者	4	1	4	4	3	1	5	5	7	4	5	3	46
退所者	5	4	6	2	3	6	1	2	4	1	3	3	40
(内、看取り)	2	1	4	1	1	4	0	2	3	0	1	2	21
当月末	51	48	46	48	48	43	47	50	53	56	58	58	—
月別利用率	62.4	55.4	55.7	58.6	61.2	58.1	55.1	61.5	66.4	67.7	72.3	73.6	62.3

※（目標利用率：94％・年間利用率：62.3％）

(イ) 男女別構成（年度末）

区分	男	女	計
人数	17人	41人	58人
割合	29.3％	70.7％	100％

(ウ) 平均要介護度(四捨五入)

※平均要介護度：3.8

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
性別													
男	3.4	3.6	3.6	3.6	3.9	3.8	3.7	3.8	3.9	3.9	3.7	3.6	3.7
女	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.8
平均	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.6	3.8

(エ) 年齢別構成（年度末）

※平均年齢：85.2歳

年齢	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	計
人数	2人	10人	29人	15人	2人	58人
割合	3.4％	17.2％	50％	26％	3.4％	100％

(オ) 在苑期間別構成（年度末）

※平均在苑期間：2年

期間	6か月未満	6か月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	計
人数（人）	27人	8人	10人	8人	4人	0人	1人	58人
割合（％）	46.6％	13.8％	17.2％	13.8％	6.9％	0％	1.7％	100％

②短期入所生活介護事業（ショートステイ）

（ア）高齢者・障害者別利用況等（単位：人、％）

（定員 14 人）

月 人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	高齢者短期	31	32	36	29	27	21	29	29	34	27	27	26	—
	介護予防	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	—
	障害者短期	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	—
延べ 人数	高齢者短期	330	375	374	385	345	302	349	351	380	249	309	352	4,101
	介護予防	0	0	0	7	4	4	0	0	0	0	0	0	15
	障害者短期	3	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	9
	計	333	375	374	395	349	309	349	351	380	249	309	352	4,125
月別利用率		79.3	86.4	89.0	91.0	80.4	73.6	80.4	83.6	87.6	57.4	78.8	81.1	80.7

※1 日平均利用者数：11.3 人（目標利用率 86％・年間利用率：80.7％）

③デイサービスセンター事業

（ア）利用状況等（単位：人、％） 開所日／302 日

（定員 25 人）

月 人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用契約者		79	77	76	76	75	80	84	81	82	85	81	82	—
内、通所相当サービス		22	21	20	21	23	22	23	19	12	23	20	20	—
延べ利用者数		542	529	524	544	530	516	547	512	503	465	446	473	6131
内、通所相当サービス		119	122	119	126	135	116	124	103	118	116	109	118	1425
月別利用率		86.7	84.6	83.8	80.6	78.5	82.6	81.0	81.9	83.8	77.5	77.6	75.7	81.2

※1 日平均利用者数／20.3 人（目標利用率 85.0％・平均利用率：81.2％）

④居宅介護支援センター事業

（ア）ケアプラン作成件数（単位：件）

月 件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護支援件数		85	78	82	75	73	78	78	76	75	72	68	63	903
介護予防支援件数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
認定調査件数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※（目標件数：105 件/月・月平均：75.5 件）

⑤地域包括支援センター

（ア）ケアプラン作成件数（単位：件）

月 件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防支援件数		72	68	67	66	65	66	63	70	71	73	75	77	833
介護予防ケアマネジメント		58	59	62	62	62	65	65	67	60	65	61	62	748
訪問型及び通所型サービスC		3	1	1	2	2	6	5	4	3	2	2	1	32
住宅改修理由書作成件数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※介護予防支援総件数（目標件数：140 件/月・月平均：134.4 件）

(イ) 包括支援センター業務

業 務	主な実績等
総合相談・支援業務	・総合業務（10,811 件）・介護相談会（13 回） ・市民向け講座（18 回 264 人参加）
権利擁護業務	・高齢者虐待対応（30 件） ・成年後見制度利用支援（18 件）
包括的・継続的ケアマネジメント業務	・ケアマネカフェ（4 回）
介護予防ケアマネジメント業務	・要支援者のケアプラン作成（第 1 号介護予防支援事業）
在宅医療・介護連携推進業務	・地域医療リスト（訪問診療）作成 ・在宅医療・介護連携推進事業に係る多職種合同研修（1 回） ・認知症疾患医療連携協議会（1 回）
生活支援体制の整備業務	・生活支援コーディネーター配置（1 名） ・生活支援コーディネーター会議（12 回） ・地域民生委員情報交換（12 回） ・よろず屋（第 2 層協議体）（12 回） ・サロンよろず屋支援（10 回）
認知症施策の推進業務	・認知症初期集中支援チーム員会議（6 回） ・認知症地域支援推進員連絡会（11 回） ・認知症サポーター養成講座（2 回 240 人参加） ・オレンジカフェ（10 回 232 人参加）2 月強風中止
地域ケア会議	・市主催地域ケア会議（12 回） ・市主催地域ケア推進会議（1 回） ・包括主催地域ケア会議（4 回）
一般介護予防事業	・ノルディックウォーク講座（7 回 117 人） ※5 月は台風影響の為中止 ・ラジオ体操「実施区域：幸町・栄町・膝折町」（132 回 1,500 人参加） ・健康講話と配食試食会講座（1 回 23 人） ・介護予防教室（2 か所×3 回連続講座）（49 人） ・AI 健康測定&フレイルチェック講座（1 回 24 人） ・災害の備え講座（1 回 34 人） ・膝腰痛予防講座&フレイルチェック（1 回 17 人）

(3) 外部協力・援助等

感染症対策継続によりボランティア活動及び地域交流等は年間を通して中止としました。

(4) 実習生の受入れ

学校名	受入期間	人数	受入人数 計 58 人 延べ 140 日
文京学院大学	R6. 08. 06～R6. 09. 09	1	
ウェルネス歯科衛生専門学校	R7. 02. 03、02. 10、03. 10	33	
朝霞准看護学校①	R6. 06. 26～R6. 06. 30	8	
朝霞准看護学校②	R6. 07. 03～R6. 07. 07	7	
中学生職業体験	R7. 02. 05～R7. 02. 07	9	

(5) 面会者数

区分	延べ数	備 考
来苑による面会	550人	R6. 09. 15～R6. 10. 10 クラスター発生により中止 R7. 01. 07～R7. 01. 17 感染性胃腸炎流行により中止
LINEによる面会	0回	

(6) 人材育成

(ア) 外部研修参加

・ 管理部、施設サービス部(主催：埼玉県社会福祉協議会・老人福祉施設協議会)

日付	研修名	参加人数
R6. 04. 19	労務管理担当者研修	4 名
R6. 05. 24	県老協施設長会議研修	1 名
R6. 07. 09	介護施設における安全対策担当者養成研修	1 名
R6. 09. 13	ハラスメント研修(指導的職員)	1 名
R6. 11. 01	介護支援専門員研修会	1 名
R6. 11. 12	初任者キャリアパス研修	1 名
R6. 11. 13	中堅職員キャリアパス研修	2 名
R6. 11. 14	チームリーダーキャリアパス研修	2 名
R7. 01. 13	経営戦略セミナー 生産性向上推進加算関係	2 名
R7. 01. 30	県老協施設長会議研修	1 名
R7. 01. 31	新任職員フォローアップ研修	3 名

・ 在宅サポート部(主催：埼玉県社会福祉協議会・老人福祉施設協議会)

日付	研修名	参加人数
R6. 09. 04	埼玉県主任介護支援専門員更新研修	1 名
R6. 11. 15	介護支援専門員実務研修 実習指導者研修会	1 名
R6. 12. 12	リスクマネジメント研修	1 名
R7. 01. 28	認知症基礎研修	1 名

・ 地域包括支援センター(主催：朝霞市・埼玉県 等)

日付	研修名	参加人数
R6. 05. 13	高齢者虐待対応専門研修	1 名
R6. 05. 14	朝霞市ACPワーキンググループ研修	1 名
R6. 06. 19	支援者の為の障害年金勉強会	1 名
R6. 09. 20	地域包括ケアシステム実践者向け研修	1 名
R6. 10. 23	在宅福祉サービス「あいはあと事業」講習会	1 名
R6. 10. 29	成年後見制度研修会	1 名
R6. 10. 30	高齢者免許自主返納セミナー	1 名
R6. 10. 31	ヤングケアラー支援者研修	1 名
R6. 11. 05	ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修会	1 名

R6. 11. 13	障害者差別解消法及び朝霞市日本手話言語条例研修	1 名
R6. 11. 27	朝霞市 A C P ワーキンググループ研修	1 名
R6. 12. 12	リスクマネジメント研修(中堅職員)	1 名
R6. 12. 16	介護給付適正化に係るケアマネジメント研修会	1 名
R7. 02. 19	高齢者虐待防止研修	1 名
R7. 03. 12	朝霞市在宅医療・介護連携推進事業に関する地域ケアカフェ	1 名
R7. 03. 18	地域包括ケアシステム取り組み報告会兼予算説明会	1 名

(イ) 内部研修状況

・施設サービス部(特養・短期入所：高齢、障害)

内 容	実施日
個人情報/プライバシー保護について	R6. 06. 12、06. 28、07. 10
ノロウイルス吐物処理（動画視聴）	R6. 04. 10
看取り介護研修	R6. 06. 12、06. 28、07. 10
感染症について/衛生管理・瀰漫防止 等	R6. 04. 10、05. 08、10. 09 10. 16、11. 13
虐待防止関連(高齢者・障害者)	R6. 08. 12、08. 27、09. 11
身体拘束関連(高齢者・障害者)	R6. 08. 27、12. 11 R7. 01. 02、02. 14
業務継続計画研修(高齢者・障害者／非常災害時)	R6. 12. 13
手洗い研修	R6. 12. 20
吐物処理研修	R6. 10. 16
認知症ケア関連	R6. 12. 11、R7. 01. 08
事故防止(含：入浴事故防止実地研修)・褥瘡予防・誤薬予防	R6. 10. 09 R7. 02. 14、02. 21、03. 21

・在宅サポート部 デイサービスセンター

内 容	実施日
倫理及び法令遵守に関する研修	R6. 04. 30
吐物処理について	R6. 05. 28
個人情報、プライバシー保護について	R6. 08. 27
虐待防止関連	R6. 10. 29
認知症ケアについて	R6. 11. 26
身体拘束関連	R6. 12. 24
感染症関連、入浴介助について	R7. 01. 28
介護予防について	R7. 02. 25

・在宅サポート部 居宅介護支援センター

内 容	実施日
職業倫理/法令遵守について	R6. 06. 04
生活保護について	R6. 07. 25
プライバシー保護/個人情報取り扱い	R6. 08. 20

業務継続計画研修	R6. 09. 14、12. 13
認知症ケアについて	R6. 09. 17
ハラスメントについて	R6. 10. 09
ヤングケアラーについて	R6. 12. 24
感染症予防研修	R7. 01. 22、02. 05
高齢者虐待について	R7. 02. 05
他法人合同事例研修会	R6. 06. 13、10. 10 R7. 03. 13

・地域包括支援センター

内 容	実施日
ケース事例検討会	R6. 04. 03、05. 01、09. 04、 11. 06 R7. 02. 05、03. 05
高齢者虐待対応マニュアルについて	R6. 06. 05
暫定ケアプラン作成手順について	R6. 08. 07
業務継続計画研修	R6. 09. 14、12. 13
個人番号の取り扱いについて	R6. 10. 02
感染症研修	R6. 12. 04
高齢者虐待防止研修	R7. 02. 05
感染症ゾーニング訓練	R7. 02. 05

(ウ) 資格取得状況

介護福祉士(1名)